



続・増穂薪窯通信

# てんやわんや

文・写真 増穂登り窯 太田治孝

増穂備前焼成中の秋の雲と富士山。

## 第11回 増穂備前焼成

「薪作りにこれほど手間をかけたことがあっただろうか」と、思うほど、今回の備前焼成は手間がかかりました。なにしろ赤松の小割りに約3年間かけて準備したからです。薪は長さ40cm、直径3〜4cmのサイズに合わせて割るので、手間が掛かったのは、赤松の「節」に当たる部分をすべて切り落とさなければならなかったことでした。なぜなら、焼成時は焚き口に薪を隙間なく差し込んで蓋代わりにし、少しずつ薪を窯内に落とし入れていく方法をとるからです。しかし、節があると薪をスムーズに投入することができません。



長さ40cm、直径3〜4cmの赤松小割り



窯の左右にある横焚き口も木蓋方式で焼成。

無理矢理に差し込むと焚き口のレンガが広がってしまい、窯の損壊につながります。したがって、今回のような節なしの赤松割木を作る場合は、まず40cmの節がない赤松丸太から作ります。そして通常の太さより、さらに4分の1から5分の1のサイズに割っていきます。これを1〜2ヶ月間乾燥させ、45本くらいを針金で一束にまとめます。今回はそれを650束用意し、うち500束を使用しました。その他に切端（1mの板状の雑木）1000kgを使い、8日間焼成を行いました。



正面からの焚き口。赤松の小割りを木蓋方式で焼成中。

増穂での備前焼成は、今回で11回目です。思い起こせば15年前、備前焼きの第一人者である伊勢崎淳氏（いせさき じゅん）氏が来窯された時に、伊勢崎氏使用の平安窯（六窯）と同型の「割竹式穴窯」を使った酸化焼成をご提案していただき、備前焼成について薫陶を受けました。割竹式穴窯とは、縦二つに割った竹を山の斜面に伏せたような構造の窯です。平安窯は、割竹式穴窯の4〜5倍のサイズがあり、赤松は50cmの長さを使用しています。一方の割竹式穴窯で50cmは無理なので、40cmの節なしの小割赤松を準備したのです。

— 穴窯焼成は難しい —  
正面の焚き口から煙突までは約



志野釉もしっとりよく焼けた。

6.7m、この間に棚板を4枚ずつ、3箇所、合計12枚を配置しました。棧切り（窯床に置いた作品が炭に埋もれ、炎が直接当たらず、空気の流れが悪いことも相まって還元焼成時、所謂いぶし焼きの状態に生じる窯変で、ネズミ色・暗灰色・青色等に発色）のスペースは3箇所です。このスペースにも窯詰めします。

6.7mもある窯内では、温度条件がかなり異なります。最奥の棚板4枚には、安定した温度条件を必要とする火罨（ひやま）をねらった食器類、大皿、オブジェなどの作品を窯詰めしました。表情は淡くあつさりしていました。中間の棚板4枚には、しっかりとした焼きが必要な茶器、大皿、中皿を置きました。

手前の棚板4枚には、温度計では1200度以下なのですが、実



傾いた煙突と3年間に伸びた樹木。

際の温度は20〜30℃高いはずで、強力な焼き上がりの表情になるでしょう。ここには赤土に志野釉をかけた湯呑を窯詰めしました。結果は、しっとりとしたマト調に焼き上がり、大成功でした。正面の壺には、備前田土に信楽土30%を混ぜました。穴窯での酸化焼成はかなりの経験が必要ですが、今回で11回目、なんとか8日間の焼成をコントロールでき、中型の穴窯の個性が表現できたと思います。



手作りケーキ。2個いただきました。



オリジナル創作ケーキ。「皆さん、ありがとうございます」。

— 3年間使用しないと —  
割竹式穴窯は、増穂登り窯にある8基の薪窯のうちの1基です。じつは3年間使用していませんでした。そのため、焼成中に煙突からの炎が周辺の樹木に延焼しそうになり、焼成6日目に枝を切りました。3年間に樹木がかなり成長していたのです。この枝打ち時に気付いたのですが、後方から見た煙突が右方向に3〜4cm傾いていました。今年2月の18mの大雪の影響でしょうか。次回の焼成までには修理しなければいけません。焼成中の8日間に美しい富士山を何回見たことでしょう。秋の富士山は美しく、周辺の月見草によく似合います。

そして、10月31日は私の誕生日でした。プレゼントしていただいた手作りケーキは、窯焚き中の我々の疲れを癒してくれました。30名以上の参加者の総合力で、なんとか増穂備前焼成は無事に終了しました。お疲れさまでした。窯出した作品の一部は、来年1月22日〜25日まで六本木のギャラリーで展示いたしますので、お時間のある方は、ぜひ足をお運びください。

◎展覧会情報  
増穂備前グループ展  
会期：2015年1月22日〜25日  
会場：ザ・ミッドトーキョー・ギャラリー  
（東京都港区六本木7-4-14）  
TEL 03 6434 5633  
主催：ついたち会